

科目名称	日本語表現ⅠA①～④/B①～⑩/C/R①②			授業コード	24106012
担当教員	新 聖子	中川 裕香、角田 宏子、麻 子軒			
単位数	2.0	授業形態	講義	科目分類	必修、学修基礎/コミュニケーション
年次	1	開講年度	2020	開講学期	前期/後期
関連資格	博学				
履修制限等	予備登録実施				
授業の目的と到達目標(学修成果)	<p>目的: 基本的な日本語の文章表現のルールを学び、日本語の文章力を高めることを目的とする。日本語で表現するための基本として日本語の書き言葉の特徴を把握し、論理的に書く技法の初歩を身につける。</p> <p>目標:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き言葉と話し言葉の違いを把握し、適切に使い分けられる ・文章を作成する際に、論理的構成に配慮する習慣を身につける ・文章でものごとを客観的に説明できる ・立場を明確にし、異なる視点を取り入れ自らの意見を述べるができる ・待遇表現の基本的ルールを理解し使用できる 				
授業の概要(内容)	身近なテーマから少しずつトレーニングや実践の段階を経て、大学の学びに必要な文章表現力をつけ、読む人に伝わりやすい文章を書けるようになることを目指す。この授業は日本語表現Ⅱおよび文章表現法の基礎となるものである。授業の進め方は担当教員から説明する。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1: オリエンテーション、紹介文①文章設計図作成 2: 紹介文②文章作成 3: ことばのドリル①文体 4: ことばのドリル②整った表現 5: ことばのドリル③書式 6: ことばのドリル④簡条書きから文章へ 7: 意見文①文章設計図作成 8: 意見文②文章作成 9: ことばのドリル⑤まとめ 10: before/afterの文章①文章設計図作成 11: before/afterの文章②文章作成 12: 対立項と時間軸のある文章①文章設計図作成 13: 対立項と時間軸のある文章②文章作成 14: 敬語のドリル①基本的ルール 15: 敬語のドリル②練習 				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	授業前には当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義後も講義内容の理解を深めるために当日の概要・ポイントなどを整理するなど、復習に励むこと。また、正しい漢字が書けるように日頃から意識しておくこと。				
評価方法	課題・提出物60%、復習テスト40%。5回以上の欠席はE評価になる。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	提出された課題を採点し、コメントをつけて返却する。				
使用テキスト	板東実子(2016)『大学生のための文章表現 練習帳』国書刊行会				
参考テキスト・URL					
各自準備物	電子辞書等				
実習費					
その他	2020年度生は、能力別クラス運営をしており、進捗進度等は異なるため、上記授業内容はクラスの進度に合わせて変更する可能性がある。				

科目名称	日本語表現Ⅱ①～⑩		授業コード	20606240	
担当教員	中川 裕香	角田 宏子、野口 雅司			
単位数	2.0	授業形態	講義	科目分類	学修基礎 / コミュニケーション
年次	1	開講年度	2020	開講学期	前期/後期
関連資格	博学				
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照				
授業の目的と到達目標(学修成果)	<p>目的: 大学生としてふさわしい教養と社会で活躍するために必要な日本語での文章作成の基本を修得する。基本的な日本語の文章表現のルールを実際に応用しながら、まとまりのある論理的な文章が書けるようになる。構成を意識し、読み手に伝わる文章が作成できる。</p> <p>目標:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマについて様々な視点から考え、共有できる。 ・レポートの構造を把握し、文章が作成できる。 ・資料を読み、要点を抽出することができる。 ・資料を適切に引用し、事実と意見を書き分けられる。 ・信頼性のある資料を探し、参考文献リストを作成できる。 				
授業の概要(内容)	「日本語表現Ⅰ」で学んだ基本的な日本語の文章表現のルールを応用し、レポートを作成する。レポートの構造を把握し、「論理的な文章能力」を育成することを目指す。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1: オリエンテーション、復習、参考文献リストの書き方 2: テーマ1 ブレインストーミング、資料読み 3: テーマ1 立場を決める、資料選び 4: テーマ1 論証 理由 5: テーマ1 論証 資料を説明する 6: テーマ1 論証 意見を述べる 7: テーマ1 論証 仕上げ 8: テーマ1 結論 9: テーマ1 出だし、問題提起 10: テーマ1 最終チェック、提出、振り返り 11: テーマ2 テーマを考える 12: テーマ2 構成を考える 13: テーマ2 構成を考える、資料探し 14: テーマ2 資料探し、レポート計画表作成 15: テーマ2 レポート計画表提出、まとめ 				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	授業前には当該授業のテキストを読んでおくこと。講義後も授業内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等を整理するなど、復習に励むこと。また、正しい漢字が書けるように日頃から意識しておくこと。				
評価方法	レポート40%、小テスト30%、レポート計画表30%。欠席が6回以上の場合はE評価となる。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	提出された課題を採点し、コメントをつけて返却する。				
使用テキスト	オリジナルテキストの配布				
参考テキスト・URL					
各自準備物	電子辞書等				
実習費					
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・上記授業内容は各クラスの進度に合わせて変更する可能性がある。 ・小テストは授業開始時に行う。あとで受けることはできない。 ・配布テキストは必ず持参すること。持参しない場合は欠席と同等扱いとする。 ・履修は「日本語表現Ⅰ」を単位修得した者に限る。 ・2015年度以降入学生限定。 				

科目名称	文章表現法A①②／文章表現法 I ①②			授業コード	20206251
担当教員	角田 宏子				
単位数	2.0	授業形態	講義	科目分類	学修基礎/コミュニケーション
年次	2 /3	開講年度	2020	開講学期	後期
関連資格					
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照				
授業の目的と到達目標(学修成果)	<p>目的: 大学生としてふさわしい教養と、社会で活躍するために必要な日本語の実践的な技術を身につける。多様なコミュニケーションの場に対応できる力の修得を目的とする。日本語表現 I・II で学んだアカデミック・ライティングの基礎を生かし、各自の大学での学びと自己を簡潔な文章で説明出来るようになる。</p> <p>目標:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らを客観的に見つめ、経験を整理し、文章で表現することができる。 ・無駄を省いた簡潔な文章で表現できる。 ・社会に視野を広げ自身との接点を意識した客観的な文章が書ける。 				
授業の概要(内容)	<p>これまでに書いてきた長文のレポートとは異なり、300字、あるいは800字程度で自己をパフォーマンスできる文章作成の演習を行う。そのための読解資料を配布するが、各自で関心に添った資料を収集し準備することも求める。グループワークも取り入れる。</p>				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1: 授業内容ならびに課題についての詳細説明 2: 理解をもとに書く①漢字について 3: 理解をもとに書く②読解とは 4: 理解をもとに書く③論理とは 5: 自分を見つめて書く(人間) 6: 自分を見つめて書く(私) 7: 自分を見つめて書く(学生)、小テスト1 8: 自分を見つめて書く(職業観) 9: 社会への関心をもとに書く(専門) 10: 社会への関心をもとに書く(持続可能な発展) 11: 社会への関心をもとに書く(日本文化) 12: 社会への関心をもとに書く(社会福祉と医療) 13: 社会への関心をもとに書く(教育) 14: 社会への関心をもとに書く(国際情勢) 15: 社会人となる自己を語る、小テスト2 				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	予告するテーマについての下調べ、材料集め。指示する宿題。				
評価方法	授業内レポート55%、小テスト30%、始業時の課題15% 欠席が5回以上の場合はE評価となる。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	<p>次回の授業で、課題の中の特徴的な見解や誤解についての解説を行う。提出された課題には、コメントをつけて返却する。</p>				
使用テキスト	適宜プリントを配布する。				
参考テキスト・URL					
各自準備物	電子辞書等				
実習費					
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・履修は「日本語表現 I・II」を単位修得した者に限る。 ・2015年度以降入学生限定。 				

科目名称	文章表現法B①②/文章表現法Ⅱ①②		授業コード	20206260	
担当教員	新 聖子	角田 宏子			
単位数	2.0	授業形態	講義	科目分類	学修基礎/コミュニケーション
年次	2 / 3	開講年度	2020	開講学期	後期
関連資格					
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照				
授業の目的と到達目標(学修成果)	<p>目的: 大学生としてふさわしい教養と社会で活躍するために必要な日本語の実践的な技術を身につける。日本語表現Ⅰ・Ⅱで学んだアカデミック・ライティングの基礎を、個々の表現活動に応用できるようになる。まとまりある文章の主旨を理解し整理したうえで、内容を的確に伝えられるようになる。さまざまなコミュニケーションの場においてスムーズな情報のやりとりができるようになる。</p> <p>目標:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み、要点を抽出することができる。 ・テーマについて理解を深め、考察しまとめることができる。 ・情報を整理し、的確に口頭で説明することができる。 				
授業の概要(内容)	<p>これまでの日本語表現ⅠおよびⅡで学んだことを踏まえ、この文章表現法Ⅱでは、読解や口頭表現を含めた言語活動の訓練を行う。さまざまな場面で必要とされる、表現したいこと、伝えたいことを言語化する。また、口頭表現を念頭においた文章表現(スクリプト)の創作や、文章の構造を整理したりすることで、内容の理解を深め、自らの文章表現にも活用していけるよう練習を重ねる。</p>				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1: オリエンテーション 2: テーマ1提示、話し合い 3: テーマ1調査、まとめ 4: テーマ1発表 5: テーマ1振り返り 6: テーマ2提示、話し合い 7: テーマ2調査、まとめ 8: テーマ2発表 9: テーマ2振り返り 10: テーマ3提示、話し合い 11: テーマ3調査、まとめ 12: テーマ3発表 13: テーマ3振り返り 14: 個人発表 15: 総復習 				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	<p>授業前には、当該授業部分の資料を読んでおくこと。講義後も講義内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと。</p>				
評価方法	<p>授業内容を反映させた提出物70%、発表30% 欠席が5回以上の場合はE評価となる。</p>				
課題・試験に対するフィードバックの方法	<p>提出されたレポート、課題等を採点し、コメントをつけて返却する。</p>				
使用テキスト	<p>適宜プリントを配布する。</p>				
参考テキスト・URL					
各自準備物	<p>電子辞書等</p>				
実習費					
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・履修は「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」を単位履修した者に限る。 ・2015年度以降入学生限定。 				

科目名称	基礎英語 I A①～⑩ / I AR			授業コード	10906022
担当教員	岡村 光浩	秋宗 英夫、上河 創			
単位数	1.0	授業形態	講義	科目分類	必修、外国語／必修、コミュニケーション
年次	1	開講年度	2020	開講学期	前期/後期
関連資格	教職				
履修制限等	予備登録実施				
授業の目的と到達目標(学修成果)	英語による基本的なコミュニケーションに必要な語彙、文法知識を習得し、listening, speaking, reading, writingの4技能の向上を目指す。				
授業の概要(内容)	各ユニットが扱うトピックに必要な語彙と文法項目を学び、それらを4技能(listening, speaking, reading, writing)を通してコミュニケーションに応用していく。				
授業計画	<p>1:オリエンテーション(授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他)</p> <p>2:Unit 1: What's your major? (1) Warm-Up ~ Grammar</p> <p>3:Unit 1: What's your major? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write!</p> <p>4:Unit 2: How do you like your new school? (1) Warm-Up ~ Grammar</p> <p>5:Unit 2: How do you like your new school? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write!</p> <p>6:Unit 3: Let me introduce a new member to you. (1) Warm-Up ~ Grammar</p> <p>7:Unit 3: Let me introduce a new member to you. (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write!</p> <p>8:Unit 4: How was your Golden Week? (1) Warm-Up ~ Grammar</p> <p>9:Unit 4: How was your Golden Week? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write!</p> <p>10:Unit 5: I'm looking for a part-time job. (1) Warm-Up ~ Grammar</p> <p>11:Unit 5: I'm looking for a part-time job. (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write!</p> <p>12:Unit 6: What do you call this in Japanese? (1) Warm-Up ~ Grammar</p> <p>13:Unit 6: What do you call this in Japanese? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write!</p> <p>14:Unit 7: Have you been there? (1) Warm-Up ~ Grammar</p> <p>15:Unit 7: Have you been there? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write!</p>				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	<p>テキストの章ごとに小テストがあるので、十分予習をして授業に臨むこと。不確かな文法事項や語彙等については、参考テキストや辞書等を活用し復習しておくこと。</p> <p>その他の課題については、授業時に担当講師より指示する。</p> <p>なお使用テキストは「リングポルタ」Webシステム https://goo.gl/RvBW69に対応しているので、授業時間外学習の課題として使用する場合がある(使用する場合は授業時に担当講師より指示する)。</p>				
評価方法	<p>・平常点(授業の進行に関する発言・発表等の積極性・貢献度)40%※</p> <p>・授業内の小テスト 30%</p> <p>・課題等提出物 30%</p> <p>※使用テキストは「リングポルタ」Web システム https://goo.gl/RvBW69に対応しているので、e-learning での得点を平常点に加味する場合がある(使用する場合は授業時に担当講師より指示する)。</p>				
課題・試験に対するフィードバックの方法	<p>小テストは採点后、誤答等について授業中に解説する。</p> <p>提出された課題については、コメントをつけて返却すると共に授業内で全体的な講評を行う。</p> <p>「リングポルタ」を授業外学習として使用する場合、フィードバックは自動で行われ、学習項目の定着の度合いは受講者・担当講師の双方が確認でき、また担当講師と質問のやりとりもできる。</p>				
使用テキスト	角山照彦、Simon Capper『Let's Read Aloud & Learn English: On Campus』成美堂、2019年				
参考テキスト・URL	『総合英語 Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)3訂版』Cambridge UP, その他各担当講師より指示する。				
各自準備物	英和／和英辞典:コンパスローズ(研究社)・ウイズダム(三省堂)・ジーニアス(大修館)等 (『リングポルタ』を使用する場合は、PC・タブレット・スマートフォン・フィーチャーフォン(ガラケー))				
実習費					
その他	<p>1. 基礎英語Iは必修科目である。また基礎英語IIの履修には基礎英語Iの単位取得が必須である。</p> <p>2. テキストは基礎英語 IA・IIA で同じものを継続使用する。</p> <p>3. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。</p> <p>4. 欠席は原則4回まで(予備登録期間含む)。なお遅刻30分以上は欠席扱いとする。</p> <p>5. 積極的な Global Cafe の利用・英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。 英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。</p> <p>6. その他詳細は各担当講師より指示する。</p>				

科目名称	基礎英語 I B①～⑤/ I BR		授業コード	11206022	
担当教員	ラッダ 政美				
単位数	1.0	授業形態	講義	科目分類	必修、外国語/ 必修、コミュニケーション
年次	1	開講年度	2020	開講学期	前期/後期
関連資格	教職				
履修制限等	予備登録実施				
授業の目的と到達目標（学修成果）	英語による基本的なコミュニケーションに必要な語彙、文法知識を習得し、listening,speaking,reading,writingの4技能の向上を目指す。				
授業の概要（内容）	各ユニットが扱うトピックに必要な語彙と文法項目を学び、それらを4技能（listening,speaking,reading,writing）を通してコミュニケーションに応用していく。				
授業計画	1 : オリエンテーション（授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他） 2 : Unit1:Meeting People(1): Greeting People / Making Introductions 3 : Unit1:Meeting People(2): Reviewing Simple Present Tense / Making Personal Profiles 4 : Unit2:Time to Eat(1): Asking about a Meal / Talking about Eating Habits 5 : Unit2:Time to Eat(2): Reviewing Simple Past Tense / Writing about Festivals 6 : Unit3:Living withTechnology(1): Making Suggestions / Making and Responding to Invitations 7 : Unit3:Living withTechnology(2): Reviewing Present Continual Tense / Using Internet Language 8 : Unit4:Shopping for Clothes(1): Receiving Customers 9 : Unit4:Shopping for Clothes(2): Reviewing Comparatives and Superlatives / Writing Clothing Reviews 10 : Unit5:A Helping Hand at Home(1): Complaining about Machines / Asking for a Lower Price 11 : Unit5:A Helping Hand at Home(2): Reviewing Possessive Nouns, Pronouns, Adjectives and Correlative Conjunctions / Making Flyers 12 : Unit6:Going Places(1): Asking for and Giving Directions 13 : Unit6:Going Places(2): Reviewing Modals / Writing Directions 14 : Unit7:Not Feeling So Good(1): Making an Appointment 15 : Unit7:Not Feeling So Good(2): Reviewing Linking and Causative Verbs / Writing Medical History				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	毎回テキスト、オンライン、補助教材で予習・復習する課題がある。				
評価方法	平常点（授業の進行に関する発言・発表等の積極性・貢献度）40%、授業内の小テスト 30%、課題提出物 30%				
課題・試験に対するフィードバックの方法	小テストは採点后、誤答等について授業中に解説する。提出された課題については、コメントをつけて返却すると共に授業内で全体的な講評を行う。				
使用テキスト	NEW CONNECTION Book1成美堂2018年				
参考サイト・URL	『総合英語Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）3訂版』CambridgeUP,その他各担当講師より指示する。				
各自準備物	英和/和英辞典：コンパスローズ（研究社）・ジーニアス（大修館）・ウィズダム（三省堂）等				
実習費					
その他	1.基礎英語Iは必修科目である。また基礎英語IIの履修には基礎英語Iの単位取得が必要である。 2. テキストは基礎英語IB・IIBで同じものを継続使用する。 3.授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。 4.欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。なお遅刻30分以上は欠席扱いとする。 5.積極的なGlobal Cafeの利用・英語による/英語に関係したイベントへの参加を推奨する。英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 6.その他詳細は各担当講師より指示する。				

科目名称	基礎英語 IC①②		授業コード	11906022	
担当教員	ラッダ 政美	小橋 薫			
単位数	1.0	授業形態	講義	科目分類	必修、外国語/ 必修、コミュニケーション
年次	1	開講年度	2020	開講学期	前期
関連資格	教職				
履修制限等	予備登録実施				
授業の目的と到達目標(学修成果)	英語による基本的なコミュニケーションに必要な語彙、文法知識を習得し、listening,speaking,reading,writingの4技能の向上を目指す。				
授業の概要(内容)	各ユニットが扱うトピックに必要な語彙と文法項目を学び、それらを4技能(listening,speaking,reading,writing)を通してコミュニケーションに応用していく。				
授業計画	1:オリエンテーション(授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他) 2:Unit 1: Roommates (1): Describing Personal Quality / Asking about Problems 3:Unit 1: Roommates (2): Reviewing Simple Future Tense /Making Personal Profiles 4:Unit 2: Checking Out (1): Making Suggestiotns / Giving Warnings 5:Unit 2: Checking Out (2): Reviewing Adverbial Clauses / Writing Shopping Tips 6:Unit 3: Get in Shape (1): Discussing Health 7:Unit 3: Get in Shape (2): Reviewing Noun Clauses / Making Peranal Trainer Ad 8:Unit 4: Money Management (1): Describing Finantial Situation / Talking about Personal Budget 9:Unit 4: Money Management (2): Reviewing Negative Qestions / Applying for Scholarship 10:Unit 5: Close Ties (1): Expressing Surprise / Talking about Progress 11:Unit 5: Close Ties (2): Reviewing Tag Questions / Giving Advice 12:Unit 6: Time to Celebrate (1): Making and Respoding to Invitations 13:Unit 6: Time to Celebrate (2): Reviewing Relative Clauses / Making Festival Flyers 14:Unit 7: Animals in Danger (1): Being Frank and Joking / Showing Understanding 15:Unit 7:Animals in Danger (2):Reviewing Simple Past Tense vs. Present Perfect Tense / Making Charity Flyer				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	毎回テキスト、オンライン、補助教材で予習・復習する課題がある。				
評価方法	平常点(授業の進行に関する発言・発表等の積極性・貢献度) 40%, 授業内の小テスト 30%, 課題提出物 30%				
課題・試験に対するフィードバックの方法	小テストは採点后、誤答等について授業中に解説する。提出された課題については、コメントをつけて返却すると共に授業内で全体的な講評を行う。				
使用テキスト	NEW CONNECTION Book2 成美堂 2018年				
参考テキスト・URL	『総合英語Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)3訂版』CambridgeUP,その他各担当講師より指示する。				
各自準備物	英和／和英辞典:コンパスローズ(研究社)・ジーニアス(大修館)・ウィズダム(三省堂)等				
実習費					
その他	1.基礎英語IIは必修科目である。また基礎英語IIの履修には基礎英語Iの単位取得が必要である。 2. テキストは基礎英語IB・IIBで同じものを継続使用する。 3.授業内容についてはクラス毎の進捗等により調整する場合がある。 4.欠席は原則4回まで(予備登録期間含む)。なお遅刻30分以上は欠席扱いとする。 5.積極的なGlobal Cafeの利用・英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 6.その他詳細は各担当講師より指示する。				

科目名称	基礎英語Ⅱ A①～⑧			授業コード	20106221
担当教員	秋宗 英生	上河 創			
単位数	1.0	授業形態	講義	科目分類	外国語／コミュニケーション
年次	1	開講年度	2020	開講学期	後期
関連資格	教職				
履修制限等	予備登録実施				
授業の目的と到達目標(学修成果)	英語による基本的なコミュニケーションに必要な語彙、文法知識を習得し、listening, speaking, reading, writingの4技能の向上を目指す。				
授業の概要(内容)	各ユニットが扱うトピックに必要な語彙と文法項目を学び、それらを4技能(listening, speaking, reading, writing)を通してコミュニケーションに応用していく。				
授業計画	1:オリエンテーション(授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他) 2:Unit 8: Could you tell me how to get there? (1) Warm-Up ~ Grammar 3:Unit 8: Could you tell me how to get there? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 4:Unit 9: What do you want me to do? (1) Warm-Up ~ Grammar 5:Unit 9: What do you want me to do? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 6:Unit 10: I'm on a tight budget. (1) Warm-Up ~ Grammar 7:Unit 10: I'm on a tight budget. (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 8:Unit 11: What do you think of this program? (1) Warm-Up ~ Grammar 9:Unit 11: What do you think of this program? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 10:Unit 12: I'm reviewing what I studied. (1) Warm-Up ~ Grammar 11:Unit 12: I'm reviewing what I studied. (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 12:Unit 13: Final exam week is so stressful! (1) Warm-Up ~ Grammar 13:Unit 13: Final exam week is so stressful! (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 14:Unit 14: Is this your first trip abroad? (1) Warm-Up ~ Grammar 15:Unit 14: Is this your first trip abroad? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write!				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	テキストの章ごとに小テストがあるので、十分予習をして授業に臨むこと。不確かな文法事項や・語彙等については、参考テキストや辞書等を活用し復習しておくこと。 その他の課題については、授業時に担当講師より指示する。 なお使用テキストは「リングポルタ」Webシステム https://goo.gl/RvBW69 に対応しているので、授業時間外学習の課題として使用する場合があります(使用する場合は授業時に担当講師より指示する)。				
評価方法	・平常点(授業の進行に関する発言・発表等の積極性・貢献度)40%※ ・授業内の小テスト 30% ・課題等提出物 30% ※使用テキストは「リングポルタ」Webシステム https://goo.gl/RvBW69 に対応しているので、e-learningでの得点を平常点に加味する場合があります(使用する場合は授業時に担当講師より指示する)。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	小テストは採点后、誤答等について授業中に解説する。 提出された課題については、コメントをつけて返却すると共に授業内で全体的な講評を行う。 「リングポルタ」を授業外学習として使用する場合は、フィードバックは自動で行われ、学習項目の定着の度合いは受講者・担当講師の双方が確認でき、また担当講師と質問のやりとりもできる。				
使用テキスト	角山照彦、Simon Capper『Let's Read Aloud & Learn English: On Campus』成美堂、2019年				
参考テキスト・URL	『総合英語 Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)3訂版』Cambridge UP, その他各担当講師より指示する。				
各自準備物	英和／和英辞典:コンパスローズ(研究社)・ウィズダム(三省堂)・ジーニアス(大修館)等 (『リングポルタ』を使用する場合は、PC・タブレット・スマートフォン・フィーチャーフォン(ガラケー))				
実習費					
その他	1. 基礎英語Ⅱの履修には基礎英語Ⅰ(必修)の単位取得が必須である。 2. テキストは基礎英語ⅠA・ⅠAで同じものを継続使用する。 3. 授業内容についてはクラス毎の進捗等により調整する場合があります。 4. 欠席は原則4回まで(予備登録期間含む)。なお遅刻30分以上は欠席扱いとする。 5. 積極的なGlobal Cafeの利用・英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。 英語イベントへの参加等については成績に加味する場合があります。 6. その他詳細は各担当講師より指示する。				

科目名称	基礎英語Ⅱ B①～⑤		授業コード	22306221	
担当教員	ラッダ 政美	岡村 光浩、北岡 一弘			
単位数	1.0	授業形態	講義	科目分類	外国語/コミュニケーション
年次	1	開講年度	2020	開講学期	後期
関連資格	教職				
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照				
授業の目的と到達目標(学修成果)	英語による基本的なコミュニケーションに必要な語彙、文法知識を習得し、listening,speaking,reading,writingの4技能の向上を目指す。				
授業の概要(内容)	各ユニットが扱うトピックに必要な語彙と文法項目を学び、それらを4技能(listening,speaking,reading,writingを通してコミュニケーションに応用していく。				
授業計画	1:オリエンテーション(授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他) 2:Unit8:The Big Screen(1): Apologizing / Talking about Movies 3:Unit8:The Big Screen(2): Reviewing Prepositions about Time / Writing Movie Reviews 4:Unit9:How Do you Feel?(1): Asking about Someone's Feeling / Talking to People with Different Feelings 5:Unit9:How Do you Feel?(2): Reviewing Participial Adjectives / Writing Life Stories 6:Unit10:All in Good Fun(1): Talking about Likes and Dislikes / Asking for and Giving Opinions 7:Unit10:All in Good Fun(2): Reviewing Gerunds and Infinitives / Writing about Pastime 8:Unit11:GameTime(1): Talking about Injuries / Listing Requirements 9:Unit11:GameTime(2): Reviewing Past Continuous Tense / Writing about Favorite Sports 10:Unit12:Rain or Shine(1): Describing Weather Conditions 11:Unit12:Rain or Shine(2): Reviewing Simple future Tense / Writing Sportm Warnings 12:Unit13:Eating out(1): Ordering a Meal 13:Unit13:Eating out(2): Reviewing Indefinite Pronouns / Writing Restarurant Reviews 14:Unit14:School Life(1): Discussing Problems / Stating your Goals 15:Unit14:School Life(2): Reviewing Present Perfect Tense / Writing Job Applications				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	毎回テキスト、オンライン、補助教材で予習・復習する課題がある。				
評価方法	平常点(授業の進行に関する発言・発表等の積極性・貢献度) 40%, 授業内の小テスト 30%, 課題提出物 30%				
課題・試験に対するフィードバックの方法	小テストは採点后、誤答等について授業中に解説する。提出された課題については、コメントをつけて返却すると共に授業内で全体的な講評を行う。				
使用テキスト	NEW CONNECTION Book1 成美堂 2018年				
参考テキスト・URL	『総合英語Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)3訂版』CambridgeUP,その他各担当講師より指示する。				
各自準備物	英和/和英辞典:コンパスローズ(研究社)・ジーニアス(大修館)・ウィズダム(三省堂)等				
実習費					
その他	1.基礎英語IIの履修には基礎英語I(必修)の単位取得が必要である。 2.テキストは基礎英語IB・IIBで同じものを継続使用する。 3.授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。 4.欠席は原則4回まで(予備登録期間含む)。なお遅刻30分以上は欠席扱いとする。 5.積極的なGlobalCafeの利用・英語による/英語に関係したイベントへの参加を推奨する。英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 6.その他詳細は各担当講師より指示する。				

科目名称	基礎英語Ⅱ C		授業コード	23106221	
担当教員	小橋 薫				
単位数	1.0	授業形態	講義	科目分類	外国語／コミュニケーション
年次	1	開講年度	2020	開講学期	後期
関連資格	教職				
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照				
授業の目的と到達目標(学修成果)	英語による基本的なコミュニケーションに必要な語彙、文法知識を習得し、listening,speaking,reading,writingの4技能の向上を目指す。				
授業の概要(内容)	各ユニットが扱うトピックに必要な語彙と文法項目を学び、それらを4技能(listening,speaking,reading,writing)を通してコミュニケーションに応用していく。				
授業計画	1: オリエンテーション(授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他) 2: Unit 8: A Fine Art (1): Talking about Natural Talents 3: Unit 8: A Fine Art (2): Reviewing Conditionals / Writing about Art Advice 4: Unit 9: Tune In (1): Talking about How to Relax 5: Unit 9: Tune In (2): Reviewing Present Perfect Continuous / Writing about TV Habits 6: Unit 10: Music to Our Ears (1): Discussing Success / Talking about Influence 7: Unit 10: Music to Our Ears (2): Reviewing Relative Clauses / Writing Band Flyers 8: Unit 11: Study Abroad (1): Talking about Easy and Difficult Things / Expressing Worry 9: Unit 11: Study Abroad (2): Reviewing Relative Adverbs / Writing about Studying Abroad 10: Unit 12: Technology and You (1): Expressing Function / Discussing Technology 11: Unit 12: Technology and You (2): Reviewing Reported Speech / Writing about Inventions 12: Unit 13: Right and Wrong (1): Sharing Information / Showing Anger 13: Unit 13: Right and Wrong (2): Reviewing Subject and Verb Agreement / Writing Moral Advice 14: Unit 14: Your Career Starts Now (1): Giving Encouragement / Discussing Possibility 15: Unit 14: Your Career Starts Now (2): Reviewing Infinitives / Writing Job Applications				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	毎回テキスト、オンライン、補助教材で予習・復習する課題がある。				
評価方法	平常点(授業の進行に関する発言・発表等の積極性・貢献度) 40%, 授業内の小テスト 30%, 課題提出物 30%				
課題・試験に対するフィードバックの方法	小テストは採点后、誤答等について授業中に解説する。提出された課題については、コメントをつけて返却すると共に授業内で全体的な講評を行う。				
使用テキスト	NEW CONNECTION Book2 成美堂 2018年				
参考テキスト・URL	『総合英語Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)3訂版』CambridgeUP, その他各担当講師より指示する。				
各自準備物	英和／和英辞典:コンパスローズ(研究社)・ジーニアス(大修館)・ウィズダム(三省堂)等				
実習費					
その他	1. 基礎英語IIの履修には基礎英語I(必修)の単位取得が必要である。 2. テキストは基礎英語IB・IIBで同じものを継続使用する。 3. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。 4. 欠席は原則4回まで(予備登録期間含む)。なお遅刻30分以上は欠席扱いとする。 5. 積極的なGlobalCafeの利用・英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 6. その他詳細は各担当講師より指示する。				